

別紙2-2『記載例』 麻薬管理者、麻薬施用者
麻 薬 受 払 等 届

(自10月1日 至9月30日)

令和7年10月15日

福島県知事 様

(免許の種類 麻 薬 管 理 者)
(免許証番号 第05-71F****号)
所在地 福島市杉妻町2-16
名 称 医療法人 ふくしま病院
氏 名 山 形 秋 夫

麻薬業務所

病院、診療所、飼育動物診療施設においては、
麻薬管理者又は麻薬施用者が届け出ること。(第48条)



第47条
第48条 の規定により次のとおりお届けします。
第49条

令和7年分の麻薬受払状況について、麻薬及び向精神薬取締法

品 名	期始在庫数量	受 入 数 量	払 出 数 量	期末在庫数量	備 考
コカイン塩酸塩「タケダ」原末	2.00g	0	2.00	0	R7.3.9付廃棄届により2g廃棄 ^{*1}
コデインリン酸塩水和物	5.00g	50.00	30.00	25.00	10%散剤に予製 ^{*2}
コデインリン酸塩散10%	10.5g	300.0	290.0	20.5	原末より予製 ^{*2}
アヘンチンキ	7.0ml	25.0	24.2	8.0	秤量誤差(+0.2ml) ^{*3}
MSコンチン錠10mg	50T	200(20)	180	90	再利用20T ^{*4 *6}
MSコンチン錠30mg	50T	200(30)	180	100	再利用20T ^{*4 *7}
MSコンチン錠60mg	50T	200	180	70	^{*4 *8}
モルヒネ塩酸塩注射液10mg	35A	130	145	20	R7.8.8付事故届(1A落下破損流失) ^{*9}
モルヒネ塩酸塩注射液50mg	7A	0	0	7	^{*5}
ペチジン塩酸塩注射液35mg「タケダ」	11A	0	10(10)	1	回収に伴う譲渡 東北厚発○第△号 麻薬製剤業 ^{*10}
以下余白	↑				
前期末在庫数量を記載すること。					

(毎年11月30日までに所轄の保健所に提出すること。)(1部は手もとに保存し、2部提出すること。)

- ^{*1} 廃棄届により廃棄した数量を備考欄に記載すること。調剤済麻薬廃棄届により廃棄した数量は記載する必要はありません。
- ^{*2} 予製した状況を記載すること。
- ^{*3} 秤量誤差訂正している場合は、その内容を記載すること。
- ^{*4} 受入数量欄には、麻薬卸業者から譲り受けた麻薬の数量を記載し、入院患者等から譲り受けた麻薬のうち再利用するものの数量のみを()書きで同欄に記載すること。なお、入院患者等から受け入れて廃棄した数量は含めないこと。払出数量欄には再利用した数量を含め、備考欄に再利用の状況を記載すること。
- ^{*5} 1年間使用しなかった麻薬についても報告すること。また、届出期間中に麻薬を所有しなかった場合も「在庫・受払いなし」と記載すること。
- ^{*6} 麻薬卸売業者からMSコンチン錠10mg200錠、入院患者より30錠譲り受け、20錠再利用し、10錠廃棄した場合
- ^{*7} 麻薬卸売業者からMSコンチン錠30mg200錠、入院患者より30錠譲り受け、20錠再利用し、10錠再利用のため在庫となっている場合
- ^{*8} 麻薬卸売業者からMSコンチン錠60mg200錠、外来又は入院患者等より30錠譲り受け、30錠廃棄した場合
- ^{*9} 事故のあった麻薬については、その数量を備考欄に記載してください。
- ^{*10} 麻薬製剤の回収に伴う麻薬製造業者等への譲渡(逆譲渡)があった場合、払出数量欄には払い出した麻薬の数量と逆譲渡数量の合計を記載するとともに、逆譲渡数量を()書きで再掲してください。また、備考欄に「回収に伴う譲渡」、譲渡許可番号、及び譲渡先業種について記載してください。
- (記載例は回収に伴い麻薬製剤業者へペチジン塩酸塩注射液35mg「タケダ」10アンプルを逆譲渡した場合)